

教育目標具現化構想

南砺市学校教育基本理念

未来を切り拓く南砺の人づくり

南砺市の学校教育で目指す子供像

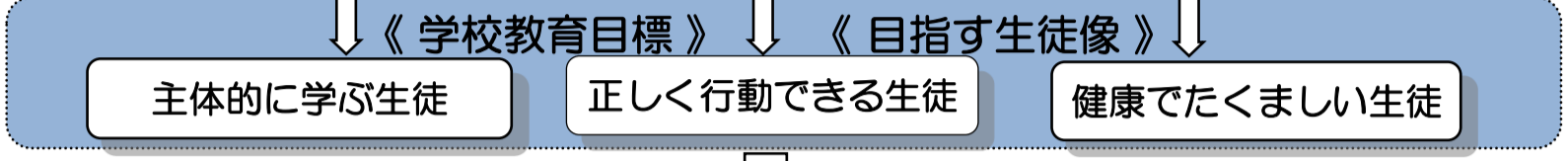
ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓くなんとっ子
～12年間を見通した教育の実現を目指して～

校訓

自主自立

誠心誠意

不撓不屈



本年度の重点目標

自分で考え、自分で判断し、責任ある行動ができる生徒の育成

主体的に学び、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を高めようとする生徒の育成（知）

自分で居心地のよい学級づくりに積極的に取り組み、利他の心をもつことができる生徒の育成（徳）

自分で、心身ともに健康な生活を送ることができる生徒の育成（体）

学校運営の方針

◆生徒の問題意識を高め、問題発見・解決能力の育成を図る。
（知）

- 主体的・対話的で深い学びができる授業（分かる、できる、楽しい授業）づくりを推進する。
- 教師の話す時間を減らし、生徒が考える時間、話す時間を増やすことにより、誰一人取り残さない授業を展開する。
- ICT機器の有効活用により、授業のユニバーサルデザイン化を進める。

◆互いの人権を尊重し、居心地のよい集団づくりに取り組む生徒を育てる。
（徳）

- 安心して自分の思いを伝え合うことができる温かい学級をつくり、生徒が良好な人間関係を築こうとする意欲を高める。
- 生命や互いの人権を尊重し、自分も周りも大切にできる豊かな心を育てる。
- 「城中スタンダード」の実践と見直しを通して、相手の立場になって考える想像力や感受性を高める。
- 様々な体験活動を通して生徒一人一人の自主性や集団の一員としての自覚を高める。

◆保護者と連携しながら、生徒の自己指導能力の獲得を支える。
（体）

- 心と身体の健康について理解し、自ら望ましい生活習慣の確立を目指す生徒を育てる。
- 事故やネットトラブル、自然災害等の危機を未然に回避する生徒の判断力を育てる。
- 食事や睡眠の重要性、適切なネット環境の必要性について継続的に指導し、生徒の健全育成につながる保護者の意識を高める。

◆「チーム城端」の意識を高め、家庭・地域・他校種等と連携した学校運営を行う。

- 「チーム担任制」を生かし、一人一人の生徒や保護者の立場にたち、学年・学校ぐるみの教育活動を充実させる。
- 家庭・地域との情報連携を密にし、地域ぐるみで生徒を育てる意識を高める。
- 学校・家庭・地域の教育力をさらに引き出す小中一貫教育の在り方を工夫する。

評価

学校評議員会における報告・評価

◇授業中や家庭学習で、自ら目標をもって取り組み、「理解が深まった、できることが増えた」と感じる生徒を90%以上にする。

◇学校生活で互いの人権を尊重し、「居心地がよい」と感じる生徒を85%以上にする。

◇睡眠を7時間以上とることができる生徒を80%以上にする。

《 とやま型学校評価アクションプラン 》
自己評価したときに「よく当てはまる」と「やや当てはまる」の合計